

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和7年度第3回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和7年11月26日（水）午後1時45分 ～ 午後3時30分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、和田 恵子、柳 清美、須永 美智子、千田 祐子、押田 友紀子、武内 まゆみ、井上 麻央、佐々木 好恵、小尾 裕美、富田 眞貴子、太田 紋何、仲里 嘉晃 （計13名） 欠席者：星 菜々絵、岩瀬 香世、下河邊 千草、眞中 裕子 事務局：障害福祉課長、認定審査係係長、認定審査係主事、認定審査係主事、基幹相談支援センター職員
議 題	1 報告事項 （1）令和7年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について （2）各部会からの報告について （3）部会長会議の報告について （4）その他 2 議題 （1）児童発達支援センターについて （2）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題 （1）児童発達支援センターの設立に関する要望について、市に提出することを承認する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）  ●会長 ○委員 ■事務局	■（事前配布資料及び当日配布資料の確認）  1 報告事項 （1）令和7年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について  ■配布資料に基づき説明 （2）各部会からの報告について （地域相談支援部会から報告）  ○配布資料に基づき説明 （就労支援部会から報告）  ○配布資料に基づき説明 （子ども支援部会から報告）  ○配布資料に基づき説明

○議事録で移動支援のことがあるが、通学についても利用できればと思う。

●課題を挙げてもらったが、自立支援協議会で検討しただけでは解決にならないため、考えていかなければならない。解決に向けて良い方法はあるか。

○プロジェクトチームを作るのはどうか。

●一つの考えである。

○移動支援を利用しての通学は認められていないが、他市では認められているところもある。認められないのは、地域支援事業に関連しているのか。

■地域支援事業は、基本的に地域の中で支給の範囲や時間を決定する事業で、国が示しているサービスとは異なるもので、移動支援を通学に認めていない理由は、自立支援協議会に以前あった部会の中で検討し、決定した結果をもとに通学については認めないとなったことで、これを根拠に支給決定をしている。

●自立支援協議会が設置される前のことか。

■平成29年頃で、移動支援についてのガイドブックを部会で作成して、その中で通勤、通学を認めないと決定した経過である。

○訪問の部会で、移動支援の利用の可否が分かりづらいので作成した。現在、学校から帰宅のみを認めているのは、特別支援学校の教員が他市の例を参考にして決定した経過である。

●年数も経過し、課題に挙がっているので、検討することが必要である。

○移動支援ではヘルパーが必須で、ヘルパー自体が少ないため、対応するのは難しい状況である。

●制度上通学に利用できるようになって、実際はヘルパーの人材不足で利用できないことなのか。

○そのとおりである。他の自治体で参考できることはあるのか。

○コロナ禍の中で23区では通勤に利用できるようになった自治体があるが、ヘルパーが見つからず利用が難しい状況である。

●物理的に難しい状況であるが、次回の部会長会議で検討し、自立支援協議会で報告したい。

(障害者のくらしを考える部会から報告)

○配布資料に基づき説明

○議事録の懸案事項で自立支援協議会の消耗品予算の記載があるが、消耗品、交通費など予算化をお願いしたい。

●予算化は可能であるか。

■どのようなものを考えているのか。

○交通費をお願いしたい。

■交通費は難しい。

○防災訓練のブースに掲示する自立支援協議会のポスターをラミネート加工したが、その費用をお願いしたい。

■令和8年度の予算要求は終了したので、令和9年度以降に検討したい。

(地域支援事業所部会から報告)

○配布資料に基づき説明

○福祉の仕事体験会の申込みが5名とのことだが、参加する事業所の全部を体験することができるのか。

○事業所で参加できる日が決まっているので、参加者に選んでもらうことを考えている。

○全事業所に体験の参加は可能か。

○参加者の日程が合えば可能である。

■グループホームの空き状況のURLを基幹相談支援センターで作成したので、地域相談支援部会で共有する。

●すべてのグループホームの空き状況をタイムリーに確認することができるのか。

■居住系に連絡会に参加している事業所のみになる。

○新規に開設された事業所にも参加を依頼しているのか。

■新規に開設された二つの事業所は参加している。

(3) 部会長会議の報告について

■配布資料に基づき説明

(4) その他

○特になし

■特になし

## 2 議題

### (1) 児童発達支援センターの設立に関する要望について

○配布資料に基づき説明

●児童発達支援センターの設立に関する要望について要望することによるしいか。

○委員承認

●先日実施したアンケート結果を添付して要望することとする。

### (2) その他

○障害者計画のアンケートが送付されたが、回答期限が短く、二週間程度の期間を設けてほしい。新しい障害者計画は来年度から実施されることで、アンケート調査が行われたが、自立支援協議会の意見が反映されているものがあるのか、また、今後のスケジュールを確認したい。

■視覚障害の方に対して音声で結果を反映させる必要があり、時間的に余裕がなかったため、期間が短かったのは申し訳ない。頂いた意見はすべて要望に対応できているわけではない。現状の進捗状況は、調査期間中で、その結果に基づき報告書が作成される予定で、計画書自体の内容はまだ議論がされていないと理解されたい。報告書については2、3月に完成する予定で、間に合えば次回の自立支援協議会で委員の皆様に配布を考えている。

○次回の協議会でアンケートの結果が示されて、意見があれば、次期計画に反映されることか。

■次期計画案は市の策定委員会でも審議していくが、委員から意見があれば、加筆、修正することは可能である。

○要望として、新規にグループホームなどの事業所が設置された際に情報がほしい。

●市はグループホームなどが新規に設置される情報が入っているのでは。

■市に事前に情報が入ってくることはほとんどない。都が市の意見を求めるからといって、必ず事業所ができるものではない。実際許可するのは都なので、市では把握できない。そのため、事前に情報を提供するの難しいことを理解願いたい。

